

## バスラ日誌（5月8日）

1 5月6日1353の英軍ヘリ墜落事案ではいろいろなことを考えさせられた。部隊交代に伴う指揮転移が5月1日に実施されたばかりであったが、[REDACTED]は迅速に対応し、ニュース映像で見る限り、装甲車は整齊と現場に進入した。その後集まった民衆が、一時暴徒化した。火炎瓶による火災への対応等も含めて被害局限と暴徒制圧の処置は見事であったと思う。撃墜の可能性が報告されていたにも拘わらず、トップ・カバーのために、別のヘリが上空監視にあたった。イラク治安部隊も機能していたと聞く。迅速に張った警戒線内に砲撃を受け、7名の負傷者（軽傷：7名とも英軍兵士）を出したが、7日9時過ぎには墜落ヘリの機体を回収し、事態は収束した。事故直後から、他のヘリ・航空機は何事もなかったかのように任務につき、各々の任務を遂行している。軍隊とはこういうものなのだ。司令部も、J3において一時特別の態勢がしかれたが、3時間後には通常の態勢に戻り、以後徐々に業務を進めている。冷たいわけではない。深い悲しみを胸に秘めて、責任を果たしているのだ。我々も、事に臨んでは危険を顧みず、身を以て責務を完遂すると宣誓しているが、いざという時に徐々に任務を遂行することができるだろうか。地上部隊の安全を確保するため、直ちにトップ・カバーを飛ばせるだろうか。軍隊の状況判断、指揮とは厳しいものと思った。犠牲者の中には2日後（今日）、本国に帰る予定だった方もおられたそうである。

2 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。



## スミッティLO日々業務報告（5月8日）

区 分	内 容
1 警戒態勢等	変化なし: [REDACTED] Threat Level [REDACTED]
2 特記事項	特になし
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワ市内の治安情勢、デモ関連情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 明日以降の豪軍支援要請関連、CIMIC関連、業支隊長・POLADキャンプスミッティ訪問関連、IPA関連、豪POLADサマーワ宿営地訪問関連、Inet修理関連、TFMMP関連 [REDACTED] 計画変更関連等 (3) 各種ミーティング等 英豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他（備考）	明日の射撃訓練 なし